

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	笠川 博明	電 話	483-1151 内線3220
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3232		事務事業名称	塵芥収集事業					短縮コード	経常	3232	臨時	3696
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	塵芥処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和40年代の人口増加により、ごみ量の増加が著しく、昭和46年より一部業者委託を開始した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして					
経済活動の発展や日常生活の利便性の向上などにより、ごみの多様化、ごみ量の増加により、分別方法・収集方法の複雑さに市民も行政も苦慮している。また、減量化・適正処理の推進のための有料指定ごみ袋制度・粗大ごみ処理有料化を継続していく。						大項目（節）	03	環境・衛生					
						中 項 目	02	ごみ処理					
						小項目（施策）	01	ごみの減量化・リサイクルの推進					
						細 項 目	02	ごみの減量の推進					
03	分別収集の徹底												
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成15年7月 ～ 平成25年3月		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民，一般家庭ごみ									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 一般家庭から排出される可燃ごみを、委託業者により週3回、集積場所から収集運搬し、清掃センターへ搬入した。粗大ごみ処理の申込を受付、委託業者により随時収集した。業者に指定ごみ袋・粗大ごみ処理券の発注を行い、取扱店に配送した。取扱店は、市民に指定ごみ袋・粗大ごみ処理券の交付（販売）を行い、市に手数料を納付した。									
	※平成22年度に計画していること： 前年度と同じ									
意図 （何を狙っているのか）	市民生活環境の保全のため、家庭系ごみを適正に収集する。また、有料指定ごみ袋制度・粗大ごみ処理の有料化により分別の適正及びごみ減量化を図る。									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	20年度	21年度		22年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	一般家庭ごみの排出量	t／年	44,990	44,357	44,646	45,580			
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	指定ごみ袋の交付枚数	枚	10,689,250	10,820,000	10,755,600	10,940,000			
	指標2	粗大ごみ処理券の交付枚数	枚	52,688	60,000	56,257	55,000			
	指標3									
成果指標	指標1	指定ごみ袋対象の家庭ごみ量	t／年	36,063	36,723	35,992	36,745			
	指標2	粗大ごみ量	t／年	887	497	916	983			
	指標3									
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード	3232	事務事業名称	塵芥収集事業			所属名	クリーン推進課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			ごみ減量化(市民1人1日当たりごみ量820g(H24):一般廃棄物処理基本計画の挑戦目標)を図るために、収集方法の検討、受益者負担金の見直し等、ごみの減量化に有効な事業を行っていかねばならない。また、H22年度に一般廃棄物処理基本計画の見直しを行い、更なるごみ減量化を図っていく予定である。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☒ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			成果向上(ごみの減量化)のための事業拡大により、経費の増加が見込まれるため。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☒	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
指定ごみ袋(10リットル)の作成要望。ごみ集積場でのルール違反に対する適正指導の要望。休日の可燃ごみ収集の要望。	

所属長コメント	更なるごみ減量化のために、収集方法等を見直し、ごみ処理経費の推移や近隣市の状況等を勘案し定期的な受益者負担の見直しを検討していく。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	ごみの減量化については、課題解決に努め、順次推進すべき。受益者負担については、慎重に検討すべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☒ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☐ 現状のまま継続		